

町は昨年度、これまでの雪対策を見直し、新たに4つの重点的な取り組みを掲げて雪対策を講じました。しかし、昨年度は降雪が少なく、講じた対策の効果を十分に検証できませんでした。本年度は、昨年度の重点的な取り組みを継続するほか、新たに1項目を追加した全5項目で雪対策に取り組みます。

3 除雪オペレーターの確保

昨年度は、16社の除雪業者により除雪作業を行いました。本年度も同様に16社と契約する予定です。これにより、除雪業者が保有する除雪機械や除雪オペレーターの人数が確保されます。昨年度と同等の除雪体制が維持されます。

■除雪業者契約数（予定）

14社 (R3年度) → 16社 ※昨年度と同様(継続)

除雪オペレーター確保により、町内の除雪体制強化

4 除雪機械の更新

本年度は、千貫石地区へロータリ式除雪機械1台を購入します。また、遠谷中・二ツ森地区へロータリ・ドーザ切り替え式の除雪機械1台を購入する予定です。そのほかにも、千貫石地区と遠谷中・二ツ森地区に除雪機械を格納する除雪センターを建設中です。この整備により、千貫石、遠谷中および二ツ森地区の除雪が充実されるだけでなく、町内全体の除雪の充実が図られます。

■除雪機械購入

ロータリ式
除雪機械
1台購入

さらに

ロータリ・
ドーザ切り替
え式除雪機械
1台購入

ほかにも！
除雪センター
を建設



ロータリ除雪車（イメージ）

除雪機械の増と
除雪センター建設
により体制充実



千貫石地区の除雪センター

5 【新規】除雪の理解度向上

皆さんからの除雪に対する意見の対応や町が行う除雪をさらに効率化させることをテーマに、意見交換会を開催予定です。このことで、皆さんと町の除雪に対する理解が深まることを目指します。また、広報かねがさきでは、実際に除雪作業に従事する除雪業者からの情報発信を予定しています。

■皆さんと町の除雪に対する理解度向上

意見交換会と情報発信

(新規)

町民と町、双方の
理解により、
より良い雪対策へ

1 幹線道路の除雪の強化

除雪作業における「幹線道路」（図1）の出動基準は、昨年度と同様に本年度も降雪5cmとします。幹線道路以外の除雪路線は、降雪10cmの目安で除雪を行います。

■除雪の出動基準

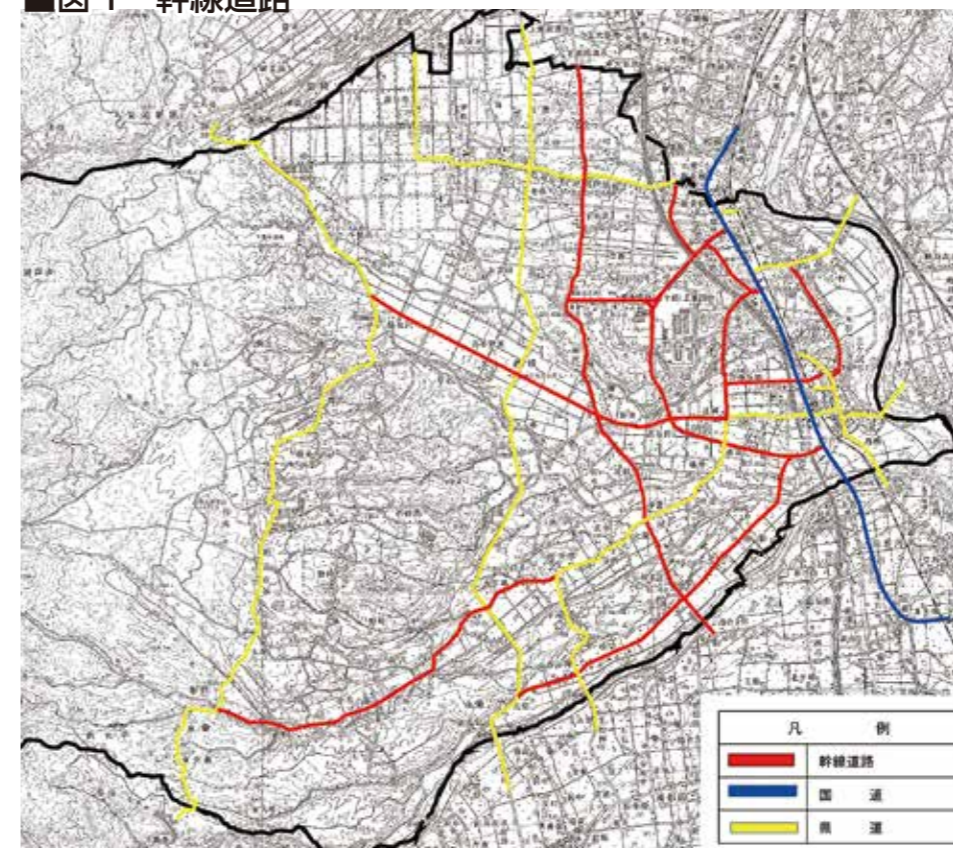
幹線道路 → 降雪 5cm

※昨年度と同様(継続)

円滑な交通を確保

その他の道路 → 降雪 10cm

■図1 幹線道路



2 住宅密集地の除排雪の改善

昨年度に引き続き、まとまった降雪があるたび、または積雪で道幅が狭くなるなどの通行障害を減らすよう、排雪作業を行うことを目指します。

■住宅密集地の排雪作業

1回程度 → 回数増を検討

(R3年度)

※昨年度と同様(継続)

通行障害の減

